



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社
 コード番号 6406 URL <http://www.fujitec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員財務本部長 (氏名) 加藤 義一 (TEL) (072) 622-8151
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	38,511	2.4	1,865	△39.7	2,305	△23.3	1,785	△16.8
29年3月期第1四半期	37,607	△2.3	3,093	△4.3	3,005	△19.9	2,145	△16.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 140 百万円 (— %) 29年3月期第1四半期 △4,826 百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	22.15	22.13
29年3月期第1四半期	26.66	26.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	168,206	102,785	54.5
29年3月期	173,007	103,847	53.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 91,745 百万円 29年3月期 92,564 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,000	1.6	6,200	△7.0	6,500	△0.3	4,500	2.5	55.82
通期	175,000	4.5	13,200	4.0	13,500	3.0	9,000	5.1	111.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	93,767,317株	29年3月期	93,767,317株
30年3月期1Q	13,143,283株	29年3月期	13,162,003株
30年3月期1Q	80,613,021株	29年3月期1Q	80,468,111株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会支援信託ESOPとして保有する当社株式を含めて表示しています。

30年3月期1Q 436,500株 29年3月期 455,300株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されていない業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (2016年4月1日～ 2016年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (2017年4月1日～ 2017年6月30日)	前年同四半期比 (%)
売上高	37,607	38,511	2.4
国内	13,313	13,815	3.8
海外	24,293	24,696	1.7
営業利益	3,093	1,865	△39.7
経常利益	3,005	2,305	△23.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,145	1,785	△16.8
1株当たり四半期純利益	26.66円	22.15円	—

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、中国では、インフラ・不動産開発投資の増加などで景気に持ち直しの兆しが見られ、その他のアジア地域では、輸出の拡大などで緩やかな景気回復が続きました。また、北米や欧州では、引き続き景気が拡大しました。日本では、個人消費の回復は緩慢なもの、企業収益や雇用情勢の改善などで、緩やかな景気回復基調が続きました。

昇降機業界におきましては、中国では、台数ベースでの需要は底堅く推移しましたが、販売価格の下落が継続しました。その他のアジア地域の需要は概ね横ばいとなり、北米では引き続き堅調に推移しました。日本では、建築コストの高騰から建築計画が停滞する状況が続くものの、首都圏を中心に、ホテルや店舗の需要に回復が見られました。

このような情勢のもと、当第1四半期連結累計期間の国内市場は、新設事業では、ホテルや店舗向けの販売が伸長しました。既設エレベータの安全性・快適性を高めるモダンゼーション事業では、主力製品の「制御盤交換パッケージ」の販売とともに、主要機器の更新工事の受注も堅調に推移しました。

海外市場での受注は、南アジアで増加しましたが、北米および東アジアでは新設工事が減少しました。以上の結果、国内受注高185億47百万円（前年同四半期比16.1%増）、海外受注高233億22百万円（同7.7%減）となり、受注高合計は418億69百万円（同1.5%増）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質3.0%減となっています。

売上高は、国内売上高138億15百万円（前年同四半期比3.8%増）、海外売上高246億96百万円（同1.7%増）となり、合計で385億11百万円（同2.4%増）となりました。なお、海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質6.8%増となっています。

受注残高は、国内受注残高619億50百万円（前連結会計年度末比8.3%増）、海外受注残高1,282億53百万円（同0.6%増）となり、合計で1,902億4百万円（同3.0%増）となりました。なお、海外受注残高は為替変動による影響を除くと、実質1.1%減となっています。

損益面では、営業利益は日本および東アジアで減少し、18億65百万円（前年同四半期比39.7%減）、経常利益は前年同四半期の為替差損の影響がなくなり、23億5百万円（同23.3%減）となりました。税金等調整前四半期純利益は、23億2百万円（同22.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億85百万円（同16.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益または営業損失		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半 期比(%)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	14,222	14,557	2.4	1,245	492	△753
北 米	5,782	6,218	7.6	157	176	18
欧 州	87	169	93.9	△25	△7	18
南アジア	3,967	4,030	1.6	488	735	247
東アジア	15,731	15,976	1.6	1,124	483	△641
小 計	39,790	40,953	2.9	2,991	1,879	△1,111
調 整 額	△2,182	△2,441	—	101	△13	△115
合 計	37,607	38,511	2.4	3,093	1,865	△1,227

(日 本)

売上高は、新設、サービス事業ともに堅調に推移し、145億57百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。営業利益は、人件費や外注費などが先行し、4億92百万円（同7億53百万円減）となりました。

(北 米)

売上高は、主にサービス事業が増加し、62億18百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。営業利益は、据付コスト削減により、1億76百万円（同18百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質10.5%増となりました。

(欧 州)

売上高は、エレベータ新設工事の増加で、1億69百万円（前年同四半期比93.9%増）となり、7百万円の営業損失（前年同四半期 営業損失25百万円）となりました。

(南アジア)

売上高は、サービス事業の増加により、40億30百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。営業利益は、サービス事業の売上増加が寄与し、7億35百万円（同2億47百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質5.6%増となりました。

(東アジア)

売上高は、中国で新設工事が減少したものの、香港、韓国での伸長により、159億76百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。営業利益は、中国での販売価格の下落や材料費の上昇により、4億83百万円（同6億41百万円減）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質7.9%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、1,682億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億1百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ37億39百万円減少し、654億20百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金が減少したことによります。

純資産額は、1,027億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億62百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の増加5億69百万円に対して、為替換算調整勘定の減少17億21百万円によります。また、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は54.5%（前連結会計年度末比1.0ポイント増）となり、1株当たり純資産額は1,137.94円（同10.42円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期 第2四半期（累計）（2017年4月1日～2017年9月30日）および2018年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）の連結業績予想につきましては、2017年5月12日に公表した予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,749	44,501
受取手形及び売掛金	50,455	45,490
商品及び製品	5,118	5,590
仕掛品	7,590	6,484
原材料及び貯蔵品	7,952	8,524
その他	7,972	8,723
貸倒引当金	△1,800	△1,728
流動資産合計	123,038	117,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,950	21,512
機械装置及び運搬具（純額）	3,315	3,575
工具、器具及び備品（純額）	1,778	1,811
土地	6,915	6,923
リース資産（純額）	10	10
建設仮勘定	2,523	515
有形固定資産合計	34,495	34,350
無形固定資産		
のれん	428	387
その他	3,464	3,520
無形固定資産合計	3,893	3,907
投資その他の資産		
投資有価証券	8,312	9,192
長期貸付金	507	506
その他	2,888	2,789
貸倒引当金	△128	△126
投資その他の資産合計	11,580	12,362
固定資産合計	49,969	50,619
資産合計	173,007	168,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,148	13,957
電子記録債務	4,529	4,094
短期借入金	3,774	1,651
1年内返済予定の長期借入金	329	328
未払法人税等	1,898	1,360
賞与引当金	2,845	3,509
工事損失引当金	7,214	6,856
その他の引当金	597	587
前受金	18,801	19,767
その他	8,964	8,068
流動負債合計	64,103	60,180
固定負債		
長期借入金	1,177	1,171
退職給付に係る負債	3,204	3,338
その他	674	730
固定負債合計	5,057	5,240
負債合計	69,160	65,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,568	14,568
利益剰余金	87,955	88,525
自己株式	△15,200	△15,180
株主資本合計	99,857	100,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,478	2,795
繰延ヘッジ損益	86	18
為替換算調整勘定	△8,582	△10,303
退職給付に係る調整累計額	△1,276	△1,212
その他の包括利益累計額合計	△7,293	△8,702
新株予約権	61	61
非支配株主持分	11,222	10,979
純資産合計	103,847	102,785
負債純資産合計	173,007	168,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
売上高	37,607	38,511
売上原価	28,634	30,897
売上総利益	8,972	7,614
販売費及び一般管理費	5,879	5,748
営業利益	3,093	1,865
営業外収益		
受取利息	235	200
受取配当金	70	85
為替差益	—	82
その他	99	116
営業外収益合計	405	484
営業外費用		
支払利息	17	26
為替差損	459	—
その他	15	18
営業外費用合計	493	45
経常利益	3,005	2,305
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	26	4
特別損失合計	26	4
税金等調整前四半期純利益	2,981	2,302
法人税、住民税及び事業税	874	915
法人税等調整額	△400	△494
法人税等合計	474	421
四半期純利益	2,507	1,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	361	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,145	1,785

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	2,507	1,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△277	316
繰延ヘッジ損益	△50	△80
為替換算調整勘定	△7,069	△2,040
退職給付に係る調整額	63	64
その他の包括利益合計	△7,333	△1,740
四半期包括利益	△4,826	140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,492	376
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,334	△235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	13,447	5,778	87	3,967	14,327	37,607	—	37,607
セグメント間の内部 売上高又は振替高	774	4	0	—	1,403	2,182	△2,182	—
計	14,222	5,782	87	3,967	15,731	39,790	△2,182	37,607
セグメント利益又は 損失(△)	1,245	157	△25	488	1,124	2,991	101	3,093

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額101百万円には、セグメント間取引消去0百万円およびたな卸資産の調整額101百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	13,829	6,208	166	4,030	14,277	38,511	—	38,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	728	10	3	—	1,698	2,441	△2,441	—
計	14,557	6,218	169	4,030	15,976	40,953	△2,441	38,511
セグメント利益又は 損失(△)	492	176	△7	735	483	1,879	△13	1,865

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13百万円には、セグメント間取引消去△17百万円およびたな卸資産の調整額3百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。